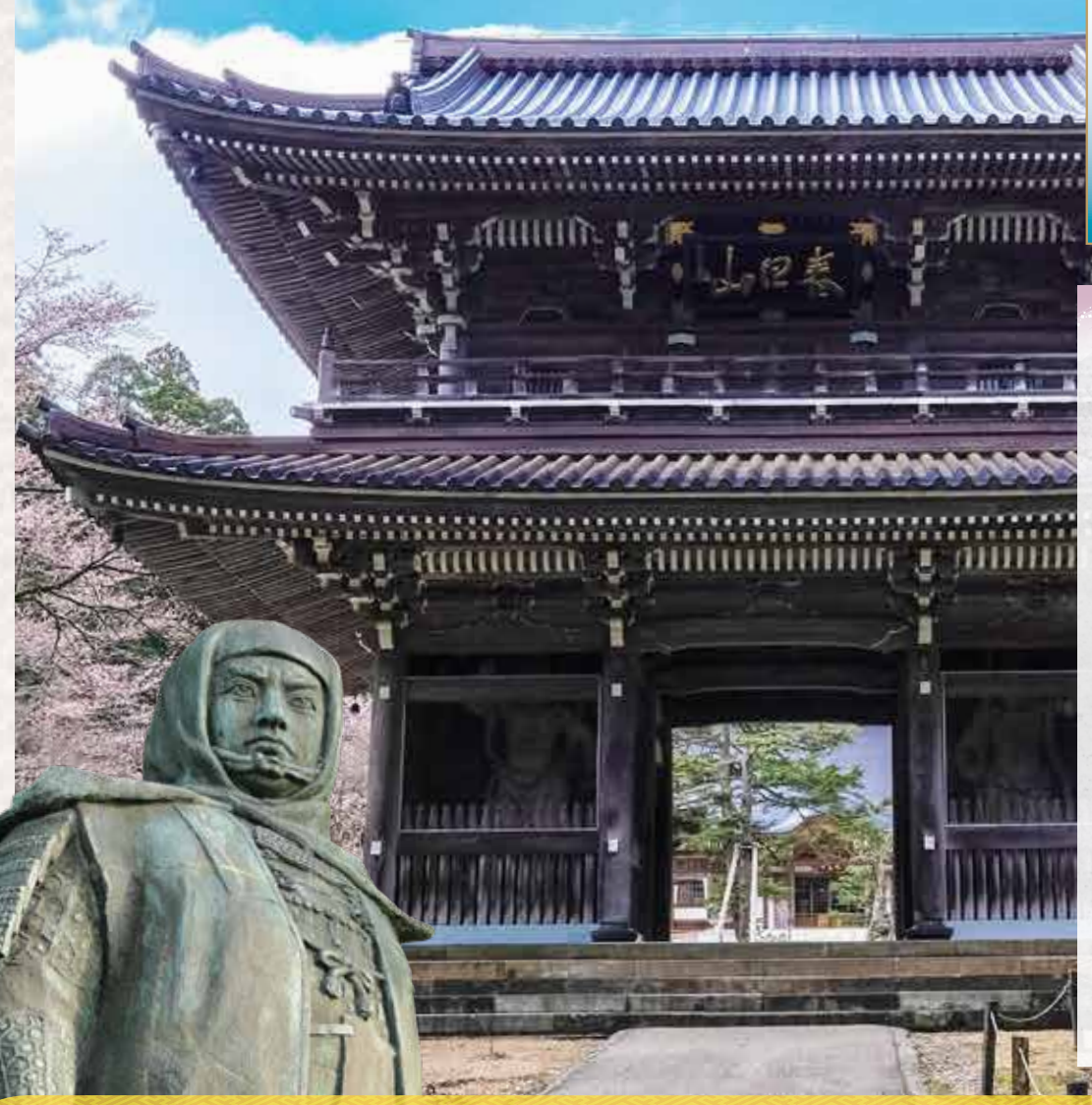


越後の覇者

上杉謙信
ゆかりの地めぐり

内乱続きだった越後を統一し、安定と繁栄をもたらしたといわれる戦国の雄、上杉謙信。彼は若く21歳だった1951年に坂戸城(現六日町)を攻略し、これによりツインタワー界隈を含めた越後のほぼ全域が、上杉家の版図に組み込まれることになりました。

そんな謙信の足跡は、今なお越後全域に残されています。今号では、花と緑が美しい春の越後散策を兼ねて、上杉謙信ゆかりの地めぐりの特集します。



上杉謙信

知略に富み、義を重んじた戦国最強とも言われる上杉謙信は、越後から北陸、上州へと版図を拡張、武田信玄や北条氏康、織田信長といった戦国の雄たちと激しい戦いを繰り返します。その戦いは欲によるものではなく、義を重んじ出兵したものであったといわれています。武田信玄との川中島の合戦は特に有名ですが、武田信玄が今川氏真によって塩を断られた際、今川の行為を批判し、敵対勢力の武田に塩を送ったエピソードは有名。これを、江戸時代の陽明学者・頼山陽が讃えて「敵に塩を送る」という故事が生まれたといわれています。

無類の大酒飲みとしても有名で、それがたたったのか、1578年、志半ばの49歳にして突然人生の幕を閉じます。生涯妻を持たず、義と武と酒に生きた出色の戦国武将でした。

上杉謙信公 年表

- 1530年(1歳) 春日山城に生まれる。
- 1536年(7歳) 父・為景が12月に病死。謙信は甲冑を身に纏い葬儀に参列する。
- 1543年(14歳) 元服して景虎と名乗る。中越の郡司として栃尾に赴任。
- 1544年(15歳) まだ若い謙信を侮って近隣の武将が攻撃を仕掛けてくるが、見事これを撃退。華々しい初陣を飾る。
- 1548年(19歳) 春日山城にうつり、兄・晴景から家督を相続し長尾家を相続する。
- 1551年(22歳) 越後国を平定。
- 1553年(24歳) 「第一次川中島の戦い」。武田信玄軍と初めての対決。
- 1561年(32歳) 関東管領に就任する。第四次川中島の戦いで武田信玄と壮絶な戦いを繰り広げる。武田信繁、山本勘助らを討ち取る。
- 1570年(41歳) このころから謙信と名乗る。
- 1573年(44歳) 武田信玄が病死する。
- 1576年(47歳) 越中国を平定。
- 1577年(48歳) 能登国を平定。手取川の戦いで織田信長軍に大勝する。
- 1578年(49歳) 関東に上洛する直前に脳溢血で急死する。
- ※1: 越後国現在の新潟県にあたる。佐渡島を除く。
- ※2: 越中国現在の富山県にあたる。
- ※3: 能登国現在の石川県北部にあたる。

謙信公 旗揚げの地
栃尾城の戦い

【所在地】〒940-0215
新潟県長岡市栃尾町栃尾城跡
【お問合せ】(一社) 栃尾観光協会
☎0258(51)1195
ツインタワーより車で約1時間40分



天文12年(1543年) 14歳で中越の郡司(長官)として栃尾に赴任。翌年、当時の越後守護代で実兄の長尾晴景の要請により、栃尾城に攻め寄せてきた越後国人衆を破った戦い(「上杉家文書」)。15歳の上杉謙信(長尾景虎)を若輩と侮り、三条城主長尾俊景、黒沢城主黒田秀忠らが、栃尾城に攻め入った戦いと言われていす。この時15歳の上杉謙信はわずかな城兵を二手に分け、一隊を敵本陣の背後を急襲させ、混乱したところを城内から討って出て、見事壊滅させることに成功したと言われます。初陣にも関わらず、並外れた指揮をとった上杉謙信の名は一気に広まり、その後も連戦連勝。若き頃より並外れた指揮官としての才能を発揮したといわれています。

上杉家版図では一度も落城
したことがない城。坂戸城

天文20年(1551) 8月、坂戸城を居城とする長尾政景討伐のために上杉謙信(長尾景虎)が出陣し、坂戸城を包囲。8月1日の総攻撃を表明すると、長尾政景父子は降伏した。この坂戸城の一件をもって、上杉謙信は越後を平定しました。

これ以後、坂戸城主の長尾政景は景虎の重臣として仕え、春日山城の留守を預かるなど、重要な役につきました。またこの政景の長男が上杉謙信の養子となり、のちの豊臣家五大老のひとりである上杉景勝となります。また、景勝の重臣直江兼続もこの坂戸城下の生まれで、後には坂戸城主にもなりました。

この後、坂戸城は北条氏や滝川一益にも攻め入られていますが、一度として落城することなく、その城の役目を終えています。このことから、坂戸城は「一度も落城したことがない城」と呼ばれています。

謙信公の学び舎
林泉寺

謙信公の祖父である長尾能景が、父・重景の菩提を弔うため明応6年(1497年)に建立した寺院です。ここで謙信公は名僧・天室光育(てんしつこういく)の厳しい教えのもと、7、14歳までを過ごしました。戦国の武将の中でも教養が高く、信仰心が厚い謙信公の素養はこの時期に培われたといわれています。惣門(市指定文化財)は春日山城から移築したといわれ、山門は鎌倉時代の和様と唐様を取り入れた大正時代の名作です。また、山門に掲げられる「第一義」の扁額、謙信公の自筆(現在掲げられているものは複製、実物は境内の宝物館にて保管)のものです。



【所在地】〒943-0801
新潟県上越市中門前1丁目1-1 林泉寺
【お問合せ】曹洞宗 春日山 林泉寺
☎025(524)5846
ツインタワーより車で約2時間

謙信公の居城、
春日山城跡

【所在地】〒943-0801
新潟県上越市大字中屋敷
【お問合せ】(公財)上越観光コンベンション協会
☎025(543)2777
ツインタワーより車で約2時間



戦国時代の名将・上杉謙信公の居城として知られる新潟県上越市の春日山城跡。国の指定史跡であり、日本百名城にも数えられています。複雑な自然の地形を巧みに利用した春日山城の堅固な城塞は、難攻不落の天下の名城といわれました。現在も、空堀や土塁、大井戸など山城の特徴が残ります。屋敷や空堀が展開する山の裾野に、延長1.2kmにも及ぶ堀と土塁で総構が築かれている点が大きな特徴です。標高約180mにある本丸跡からは、日本海や頸城平野、それを取り巻く山並みをも一望できます。